

ビリー・ホリデイ物語／奇妙な果実（1972）

LADY SINGS THE BLUES

メディア 映画

ジャンル 伝記 音楽

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 125分

初公開日 1973/06/02

公開情報 C I C

【キャッチコピー】

髪に白い花、魂のブルースで人々の心をとらえた 〈偉大な歌手〉ビリー・ホリデイの愛と感動の生涯！

【解説】

ホリデイの自伝（邦題『奇妙な果実』）。これは彼女の自作ブルースの曲名で、かつての黒人奴隷が私刑の挙げ句、木に吊され死んでいる様を唄ったもの）に基づき、モータウンの社長ベリー・ゴードイが、当時同社の看板だった元シュープリームスのD・ロスに主演させた、歌に愛に生き、麻薬に溺れた天才ジャズ歌手の半生記。15歳で強姦され、一時は売春婦もしたあとクラブで歌って成功するが、若い頃よりの麻薬中毒から抜けきれず、刑務所送りや治療施設での生活を余儀なくされるビリー。ロスは予想よりずっと繊細に彼女の脆い人間性を表現しているが、いかんせん歌声が似ても似つかず、あの深み、渋み、麻薬に声を潰されてからでも溢れていた生命力をまるで感じさせない。また、その非業の死まで描かず、顔役の夫（B・D・ウィリアムズ）の尽力でカーネギー・ホールでの公演が成功する所で終わるのも甘ったるい。

【クレジット】

監督	シドニー・J・フューリー	Sidney J. Furie
製作	ジェイ・ウェストン ジェームズ・S・ホワイト	Jay Weston
製作総指揮	ベリー・ゴードイ	Berry Gordy
原作	ビリー・ホリデイ ウィリアム・ダフティ	Billie Holiday
脚本	テレンス・マックロイ クリス・クラーク スザンヌ・ド・パッシー	Suzanne de Passe
撮影	ジョン・A・アロンゾ	John A. Alonzo
音楽	ミシェル・ルグラン ギル・アスキー	Michel Legrand Gil Askey
出演	ダイアナ・ロス ビリー・ディー・ウィリアムズ ジェームズ・キャラハン ポール・ハンプトン リチャード・プライアー ヴァージニア・ケイパーズ スキャットマン・クローザース	Diana Ross Billy Dee Williams James Callahan Paul Hampton Richard Pryor Virginia Capers Scatman Crothers